

令和4年度 教育委員との意見交換会 議事録

開催日時 令和4年10月30日（日）13:00～15:00
開催場所 犬山市役所2階 205会議室
出席者 教育長 滝 誠
教育委員 奥村康祐、田中秀佳、小倉志保、堀美鈴、渡邊智治、木澤和子
参加者 10名
テーマ 教育・子育てに関することをはじめ教育施策全般について
議事内容 以下のとおり

- 1 開会挨拶 滝教育長
- 2 教育委員紹介 各教育委員
- 3 意見交換会
内容（要約）は次のとおり

参加者

犬山市に移住してきました。例えば長野県の伊那市のある公立の小学校では、通知表がないとか、テストは全部やめたとか野外教育を中心に教育をされていて、年間600人の移住者がいて“教育移住”という言葉があるくらいです。自分が住んでいながらも、良い所ではあるのだけれども魅力としては伝え辛いものがあり、何か強みになるような事があればと思っています。

小倉委員

犬山には良いものがありますが、自分が探さないが見つからないのかなと感じました。0・1・2歳児が活動できる場所、幼稚園、小学生になったら子ども大学があります。一つの窓口で紹介ができてないところが欠点だと思います。フロイデの地域協働プラザでいろいろなネットワークをまとめて下さっているところもあり、見てわかるような形で、提案をしていきたいと思っています。

木澤委員

伊那市の他の学校は通信簿がありますが、中学になっても変わりなく、大らかで、その子なりの良いものを持って生活していると聞くと、自分の体験やら経験がいい方向に変わっていくのかもしれないと思います。

教育長

通知表がないという話もありましたが、多様性に応えられるような形で学校を選択できるといいと考えます。

参加者

犬山市は、小学校は選べますか。もし通知表が、ある学校と無い学校が、犬山市に存在したとして、通知表が無い学校へ行きたいと思ったとしても、〇〇小学校と決まっているのではないのでしょうか？

教育長

基本的には通学区域は決まっていますが、市内の子どもさんに限っては、事情があれば、

学校を変更できます。通知表がいないなら、学校変更しなくても、個別に学校へ言っていただければその子は、なしにできます。

参加者

通知表がいないというなら、その子どもさんだけ無しにすればいいと思います。通知表に限らず、部活とか、いろんな選択肢があると思います。

参加者

どこの小学校でも受け入れていただけるということですが、親が送迎することになりますか。

教育長

親が送迎していただくことになります。コミュニティバスを使っていただくなど、いろんな方法があり、不可能ではないと思います。

参加者

親の声を児童クラブや、小学校・中学校の上の人に届ける方法がよくわかりません。

また、学校によって差があることを、「何で？」と思っても聞く術がありません。投稿ボックスとか、メールで質問すると、皆さん方に直接声が届くようなシステムがあるのかをお聞きしたい。

教育長

基本的には学校のことは学校に聞いていただき、言い難いものについては全部、教育委員会でお受けし、個人が特定されないように学校には伝えます。

木澤委員

相談する所は、教育委員会でいいですが、苦情申出窓口を保育所、児童センター、児童クラブなどに設けてあります。もしもの時は、そういった利用できる所もあります。

参加者

以前、市内中学校の付近で交通安全指導をしていました。その時、生徒達が自転車に乗り、横断歩道を渡る。注意をすると、ほとんどの子が自転車から降りて渡るようになった。学校の先生は、ボランティアを禁止されていると聞いたが、ボランティアは、誰がやってもいいと思います。命を守るというのがまず先だと思います。

教育長

今いただいたご意見をまた学校現場に伝えて中学校でもきちんと交通指導をするようにしたいと思います。

参加者

私は中学2年生です。校則を変えたくて来ました。市内に4つの中学校があるなかで、3校はほとんど同じですが、1校だけ違います。犬山市内で校則が違うというのはどうなのかと思います。

堀委員

校則というのは自由かというと“いっぱい選択肢がある”とするのが大事。選択肢があるということは自分で選ぶ、自分で決めるということに繋がるので、そんなふうに校則がなっていくといいなと思います。

教育長

一昨年度・昨年度と学校現場には、校則を見直すように指示はしてあります。これはダメあれもダメではなく、これもいいよ、あれもいいよ、と見直した結果、少しずつですが変わってはきてはいます。しかし、まだ、どうしても拘りがあるのかもと、子どもさん達の声聞いて、いろいろ校則を見直してほしいということは、学校現場に伝えます。

奥村委員

具体的にその校則をどうしたいか、こういう場で、もし聞ければ伺いたい。

参加者

1校だけ違うのはちょっと違うのではないかと。市内で統一してほしいです。具体的には、靴下の色です。黒白どちらでもいいと思います。

教育長

要望がなければ動かないのではなく、要望がなくても今までのものが当たり前ではなくもう一度見直すということで、今の事も含めて意見があったことは、学校現場に伝えます。基本的には校則というのは犬山全体でどうこうしようっていうのではなく、学校経営の話です。

参加者

学校経営と言われましたが、部活動は、土日の4時間どちらかしか、やらないと決めたのは教育委員会ですよね？

他の中学の部活は、土日の両方とも練習試合を入れたりして、両方やったから、平日、少し休もうということもなく部活動をやっていますが、それはちょっと違うと思います。

教育長

私が教育長に就任した時に教員の働き方改革というのが非常に大きな問題になりました。特に中学校では、実際に指導してみえる先生方から「自分は今日休みたいけれど他の部がやっているとは休むわけにいかない」という切実な意見を聞きました。その後、最終的には朝の部活動無しにしました。4校含めて教育委員会と検討し対応してきました。そういう部活動があれば、教育委員会から指導したいと思います。4校足並みを揃えなきゃいけない部分と、それぞれの学校に任せる部分がありますので、今後、学校現場と協議します。

参加者

子育て支援ということで、小さいお子さんが遊べる場所が少ないと感じます。小さい子が遊べるような砂場とか、確保されているといいと思います。

堀委員

確かに公園の遊具もブランコは外してあり、事故が起きる度に減っていくような気がします。近所の公園で遊べる場が、減っている分、児童センターや保育園に行くと、他の方も、みえますので、関わりもできると思います。

参加者

小規模特認校制度について、教育委員会から学校に来て説明していただきましたが、具体的な進捗状況を教えていただきたい。周りに通わせたいという方がいて、お伝えできたらと思いました。

教育長

今、小規模校の地域の方、保護者の方からご意見を集約している段階です。例えば栗栖小学校、今井小学校に今以上の子ども達が通うことになると、地域が変わっていく可能性がゼロではないです。公表するのは、来年度か、再来年度になると思います。

参加者

学校間で差がでてくると思うので、足並み揃えて小規模校は一斉に確認していただきたい。

参加者

小規模特認校のアンケートを書きました。学校と保護者がコミュニケーションをとるといっていただき、ありがたいと思っています。

こちら側の思いだったり、教育としてどういう姿がいいとかを話し合ったり、吸い上げたりとか、学校側だけでなく、続けていくにはどういう努力が必要かというような話合いに持っていけないのがいつも心残りです。意見をどうしたら、伝えていけるのかがわからないので、そういう制度なり仕組みなり委員会、学校教育について、地域ごとに違う特色や、生かすところも含めて、できる仕組みがあるといいと思います。

教育長

保護者の方からは苦情が出ないようにしてほしいと、校長先生に伝えましたが、ご意見を聞く機会をつくってなかったということですね。

参加者

詳細はベールに包まれているというか。子ども達にとってどうかという、そこに立ち返ることができていない。

教育長

特に小規模校であれば比較的保護者の方々にお集まりいただく機会はつくりやすいので、定期的に、保護者のご意見を聞く場を持つようにすれば、そこで議論ができたと思います。

特にそういった機会を1回でも2回でも増やしていただいて、貴重なご意見として伺うということ、学校現場の方には、是非、伝えていきます。

参加者

学校経営なので学校ごとに違うこともよくわかりました。今、社会的に「アンコンシャスバイアス」という言葉があります。「決めつけてはいけない」ということですが、これを大きなテーマとして学校でも教えていただきたいというのが、要望です。

奥村委員

教育委員の中でもいろいろと意見が割れるところですね。先日も田中委員と話しておりました。実際に学校に行った時にトイレの女の子が赤で男の子は青。それでいいのか？国によっても違ったり、社会の現実のなかで差別もあつたりする中で、その子がどう考えるのか

という教育というのは、教育委員の間でも必要ということは話しています。本当の教育の僕の思いとしては、教育とは、教えることですが、社会で生きていく為に必要なことをしてあげる。学校の中は守ってあげる、じゃあ、外に出た時にそれに耐えられるのかどうか？ということも、社会の中での生き方とかを、学校の中で知っていくということも必要な事と思います。それは、非常に難しいことです。今の世の中のLGBTQやSDGSに対しては、そういったマイノリティーの子達に対して、どうしたら生きやすいのか？それを踏まえながら検討していきたいと思います。

参加者

学校もバリアフリー化が進められています。車いすのお子さんが増えてくると思いますが、そういうお子さんも含めた避難訓練のマニュアルはできているのか心配です。地震等で停電となった場合に、どういう手順でお子さんを避難させるのかというマニュアルづくりとか、訓練とかやってみえるのか伺いたい。

教育長

学校現場は、年度の初めと9月1日の防災の日に近いところで、避難訓練をやっています。学校に車いすを利用される子どもさんが通ってみえる学校は、必ず何かの対応をしています。車いすを運ぶ、子どもを運ぶ、大人が数人程度必要かもしれません。このあたり、できているかもしれませんが、確認対応するように学校に働きかけをしたいと思います。

4 閉会挨拶 滝教育長